

令和元年度 エコアクション21 環境活動レポート

事業期間:令和元年5月 ~ 令和2年4月
発行年月日:令和2年 6月30日

株式会社 エムエスケー



目 次

- 1 環境方針
- 2 事業概要及び認証登録範囲
- 3 環境目標
- 4 環境目標の実績
- 5 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容
- 6 環境関連法規の遵守状況確認及び評価・結果並びに違反、訴訟の有無
- 7 代表者による評価と見直し

1 環境方針

《環境理念》

株式会社エムエスケーは、日本一の白樺美林を誇る平庭高原の麓で、地域に根ざした企業経営に取り組んでまいりました。

私達は、地域に密着した住環境への配慮はもちろんの事、自然環境への気配りを重視し、全社員で環境への取組を進めてまいります。

《環境保全への行動指針》

1 次のことに取組みます。

(1) 電力、各種燃料の使用に伴う、CO2排出量の削減に努めます。

(2) 建設系廃棄物、一般廃棄物の分別を徹底し排出量の削減、再資源化に努めます。

(3) 工事現場における環境への配慮、及び地域の環境保全活動を積極的に行うよう努めます。

2 事務用品、他消耗品の再生資材等のグリーン購入に努めます。

3 関連する環境法規類を遵守します。

制定年月日:平成28年 8月31日

改訂年月日:令和 2年 4月26日

株式会社 エムエスケー

代表取締役 室澤 勝彦

2 事業概要及び認証登録範囲

1 事業者名及び代表者名

株式会社エムエスケー

代表取締役 室澤 勝彦

2 所在地

本社 〒028-8603 岩手県久慈市山形町荷軽部1-88-1

倉庫 〒028-8603 岩手県久慈市山形町荷軽部1-1-2

資材置場 〒028-8603 岩手県久慈市山形町荷軽部1-87-1

3 環境管理責任者及び担当者名、連絡先

管理責任者 総務部 蒲田 奈緒子(担当者兼務)

TEL:0194-63-5031 /FAX:0194-63-5032(本社)

4 事業内容

- ・特定建設業 岩手県知事許可(特-30)第140049号
土木・建築・大工・とび土工・舗装・
内装仕上げ工事業
岩手県知事許可(特-1)第140049号
解体工事業
- ・一般建設業 岩手県知事許可(般-30)第140049号
管・水道施設工事業
- ・浄化槽工事業 岩手県知事許可(届-18)第12-5号
- ・宅地建物取引業 岩手県知事許可(2)第2528号
- ・産業廃棄物収集運搬業 岩手県知事許可 第00308143487号
- ・市給排水工事業指定店

5 事業規模

創業年月:平成15年8月

資本金:3,500万円

	H30年度 (基準年)	R1年度	R2年度	R3年度
完工高 (百万円)	162	179		
受注数 (件)	160	64		
社員数 (人)	15	15		
事務所面積 (㎡)	142.5	142.5		

6 事業年度

5月1日 ~ 翌年4月30日

7 認証・登録範囲

全組織・全活動

(産業廃棄物収集運搬業は自社排出分のみの為、対象範囲外。)

3 環境目標

1 環境負荷の実績

表1 過去(H28年度～H30年度)の実績値

項目	単位	H28年度	H29年度	H30年度 基準年度
二酸化炭素排出量	Kg-CO2	96,386	124,750	120,812
電力使用量	KWh	1,540	7,947	16,742
ガソリン使用量	ℓ	11,599	11,606	11,478
軽油使用量	ℓ	22,381	31,645	32,421
灯油使用量	ℓ	3,913	878	717
一般廃棄物排出量	Kg	未計測	130	62.6
産業廃棄物排出量	t	1,012.9	307.4	285.7
リサイクル率	%	94.5	94.2	94.4
グリーン購入	個	52	36	57
地域貢献	回	1	1	1

補足事項

- ① 電力排出係数は、H29年度東北電力の排出係数 0.521Kg-CO2を使用。
- ② 給水等は、山水を使用し使用もわずかの為、使用量の数量管理のみ。総排水は、把握不可の為、削減目標にしておりません。
- ③ 化学物質は、保管・使用量や購入量も少量の為、購入量の数量管理のみで目標等の設定はしておりません。

2 環境目標の設定

二酸化炭素排出量と産業廃棄物排出量の削減目標は、3カ年で基準年の3%削減を目標としました。その他の目標は努力目標として数値化。

表2 環境目標

項目	単位	基準値	中期目標		
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
二酸化炭素排出量	Kg-CO2	120,812	1%削減	2%削減	3%削減
電力使用量	KWh	16,742	1%削減	2%削減	3%削減
ガソリン使用量	ℓ	11,478	1%削減	2%削減	3%削減
軽油使用量	ℓ	32,421	1%削減	2%削減	3%削減
灯油使用量	ℓ	717	1%削減	2%削減	3%削減
一般廃棄物排出量	Kg	62.6	1%削減	2%削減	3%削減
産業廃棄物排出量	t	285.7	1%削減	2%削減	3%削減
リサイクル率	%	94.4	95.4	96.3	97.3
グリーン購入	個	57	63	70	80
地域貢献	回	1	2	2	3

4 環境目標の実績

当社では、環境目標の達成状況の確認・評価を行いました。

今回、取組期間(令和元年5月から令和2年4月まで)の実績についての評価結果を報告いたします。

表3 当該年度の環境目標の達成状況

項目.84	単位	基準値	取組結果		達成状況
		H30年度	目標値	実績値	
二酸化炭素排出量	Kg-CO2	120,812	119,604	118,338	○
電力使用量	KWh	16,742	15,069	15,131	×
ガソリン使用量	ℓ	11,478	11,363	20,945	×
軽油使用量	ℓ	32,421	32,097	23,156	◎
灯油使用量	ℓ	717	710	851	×
一般廃棄物排出量	t	62.6	62.0	32.5	○
産業廃棄物排出量	t	285.7	282.8	212.8	○
リサイクル率	%	94.4	95.4	87	○
グリーン購入	個	57	63	49	×
地域貢献	回	1	2	0	×

※ 達成状況判断基準: ◎:目標値/実績値 \geq 95% ○:目標値/実績値 \geq 90% ×:目標値/実績値 $<$ 90%

5 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

(1) 環境活動計画と取組結果と評価、次年度以降の取組

具体的な環境活動取組計画を下記の通り設定し全社員で取り組みました。

表4 環境活動計画の内容と評価（達成状況 ○:達成できた △:まあまあ達成できた ×:達成できなかった）

環境目標項目	取組内容	達成状況	取組結果と次年度の取組内容
電力のCO2排出量の削減	①昼休みや不要時など、部屋を使用していない時は、照明消灯を確実に実行する	○	昼休み時の消灯は、各自意識せずとも消灯する癖が付く位自然に出来ている。不要な時は、各自意識しながら消灯を心掛けて行っている。クールビズは、半袖や薄着をし、エアコンの使用を熱中症にかからないように調整しながら使用した。待機電源は、普段から使用しない部屋の電気や機器の電源は切るようにし、退社時のチェックに取組めた次年度は、加工場での加工機器等の節電とエアコンの設定温度が28℃だと暑いので勘案しながら使用したい。
	②クールビズの推進		
	③設定温度(冷房28℃)を順守する。		
	④退社時は、OA機器等の待機電源は切る。		
車両・重機等の燃料等のCO2削減	①車両のアイドリングストップを実践する。	○	作業中は、エンジンを切るようになった、エコドライブを心掛けて運転出来たと思う。車検や修理対応等も速やかに行えた。今年度は、重機械の入替が無かった。次年度、さらにエコドライブやアイドリングストップ等の社員への推進、車両重機械等の入替えがある場合のハイブリット車等を考慮し購入したい。
	②急発進・急加速はしない。		
	③適正な車両の定期的な点検、整備を行う。		
	④ハイブリット車や低公害車への切り替えに取組んでいる。		
灯油・ガス等のCO2の削減	①暖房機器の温度(暖房20℃)を順守する。	○	20℃以上にしないよう、適切に使用出来た。暖房機器の設定温度を上げないように、フリースや作業着を羽織り対処出来た。次年度も、同様に取組みたい。
	②ウォームビズの推進		
一般廃棄物の削減	①両面印刷、コピーを徹底する。	○	大量のコピーや定例会議資料の両面印刷の実施や、ミスプリントや不要なFAX用紙の裏紙活用等、実施出来た。紙くずの分別保管も取組めた。また、会社の实情に合わせて、少しずつオンラインでのやり取りを行えるように、次年度も引き続き行う。 トナーは、配達時に使用済みの回収が出来るシステムを利用している。
	③使用済み用紙(片面コピー)の裏面をメモ用紙等に利用する。		
	④使用済段ボール、カタログ等は、所定の場所に分別保管する。		
	⑤パソコンで社内ネットワークを構築し、文書を共有し不要印刷物を削減する。		
	⑥コピー機のトナーカートリッジの回収、リサイクルを推進する。		
産業廃棄物(建設副産物)の削減	①廃プラスチック、金属くず、ガラスくずなどは所定の置場に分別保管する。	○	保管場所の整備を行い、分別保管をしている。実際は、現場で分別し産廃場に持込、会社での保管数を少なくしている。金属くずの分別、有価物化に取組んでいる。保管場所に、囲いをし飛散を防止、臭いがある物の保管はしないように心掛けている。管理台帳の作成等、適切に管理と産廃の収集運搬が出来た。次年度は、分別保管は引き続き取り組み、マニフェストは電子化に取組みたい。
	②分別を徹底し有価物化する。		
	③飛散、漏洩、悪臭など、保管の状態に問題がないよう適正な管理を行う。		
	④産業廃棄物管理票(マニフェスト)をもとに廃棄物の適正な処理を行う。		

環境目標項目	取組内容	達成状況	取組結果と次年度の取組内容
エコ商品の推奨	①環境配慮型商品を顧客に提案し、販売を促進する。 ②修理交換に関しリサイクル商品の販売・使用を促進する。	○	当社では、商品の製造は行っていないが、交換部品などは環境に優しい部品の使用に努めた。次年度は商品製造をしていない為、取組内容から外す。
環境配慮工事	①手戻工事、品質クレームゼロへ、工程の見直し。 ②環境苦情ゼロになるように工事の際に配慮する。	△	現場周辺からの苦情もなく、環境に配慮した工程等で作業できた。次年度も引き続き配慮に努めたい。
グリーン購入	①文房具やその他消耗品を購入する際、リサイクル品やエコ商品マークが付いている商品を購入するように配慮する。	△	カタログ等で、エコマークが付いた物や、詰替え用等の商品を選び購入できた。次年度は、ガイドラインの要求事項から外れるが、引き続きエコ商品の購入をする。 今年度は、3月頃に訓練等を、4月には清掃活動行う予定だったが、新型コロナウイルスの感染が広がり、感染拡大防止の観点から実施を取りやめた。次年度は、感染予防を考慮しながら出来る内容にしたい。
社員教育	①エコアクション21の取組について等の環境活動についての教育 ②緊急時の対応の仕方などの訓練を行う。		
地域活動	①自治体等の清掃活動への参加の促進をする。		
設備関連	①カラ運転の抑制 ③騒音、振動等を発生させないよう作業方法、時間帯等に配慮する。 ④土砂が仮置場等から河川や水路などに流出しないよう配慮する。	○	加工場と近所の間隔が広く影響は少ないが、現場の作業では、近所への配慮をし作業を引き続き行いたい。カラ運転の抑制にも努めたい。 次年度も引き続き、近所への配慮や環境への配慮に気を配り、安全面を考えながら作業等を行いたい。

来年度は、ガイドライン移行に伴い、次年度の取組内容を踏まえ、当社にあった取組を行いたい。

(2) その他の取組

令和2年4月に地域環境活動の予定でしたが、新型コロナウイルス感染防止のため中止としました。

6 関連法規の遵守状況の確認及び評価結果並びに違反、訴訟等の有無

弊社が関連法規について遵守状況をチェックしたところ、違反はありませんでした。関係当局及び地域からの指摘や苦情等はありませんでした。また、違反や訴訟等もありませんでした。

今後も、違反等しないように全社員で環境保全に取り組めます。

7 代表者による評価と見直し

1、環境方針について

行動指針に沿って取組めた、来年度は、環境経営方針が変わるので、当社に見合った内容を考え取組みたい。

2、環境目標について

燃料類の目標未達成があった。来年度も引き続き削減に努めたい。また、当社に見合った目標を策定し取組まなければならない。

3、環境活動計画について

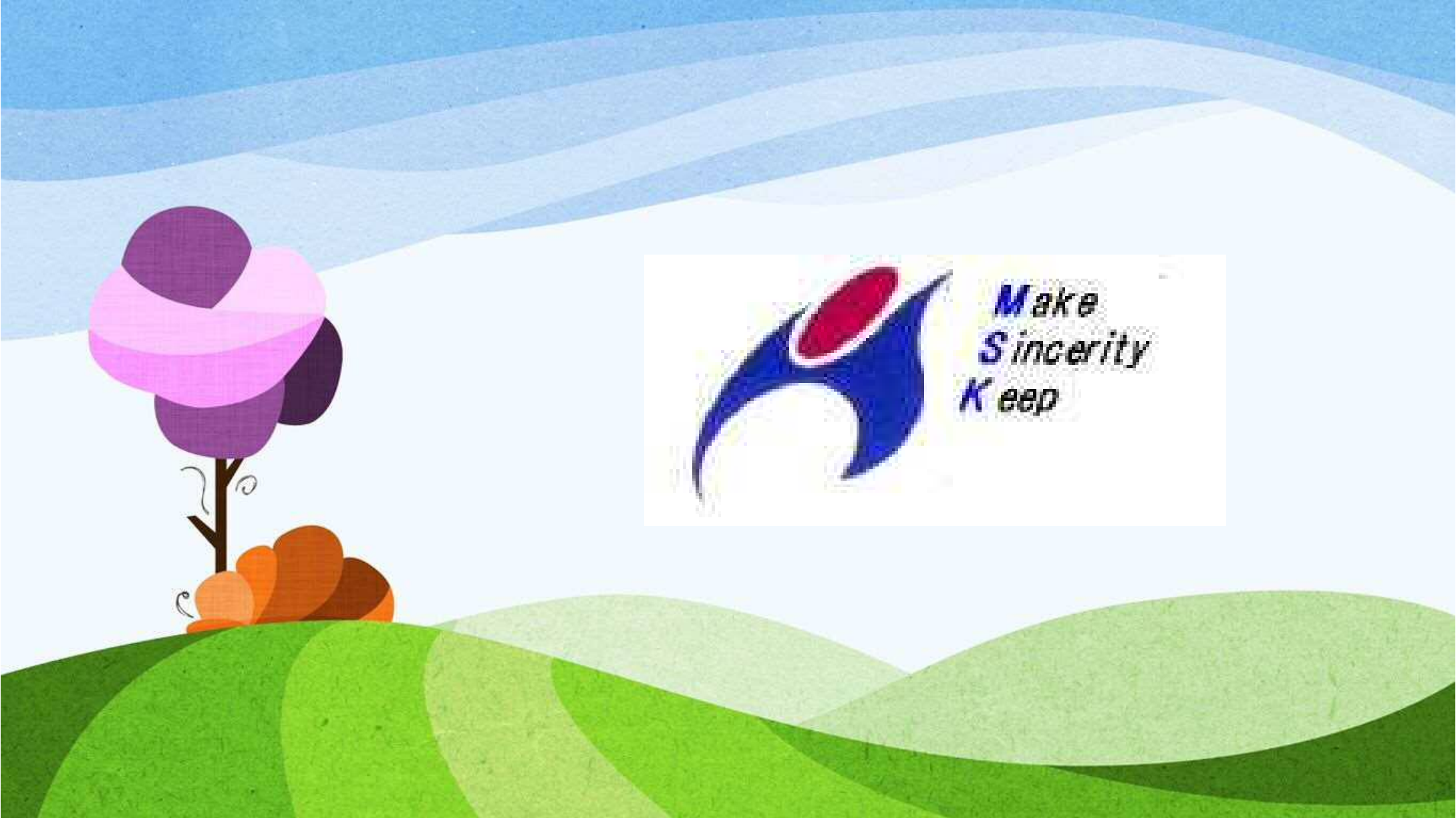
取組内容に沿って取組めた。社員教育と地域環境活動は実施出来なかったもので、来年度、実施出来るようにしたい。

4、目標と活動計画の実績について

目標達成項目は、評価したい。燃料類は、削減に引き続き努めたい。

5、全体評価

今年度は、基準年の更新をし、新たな数値で取り組みました。燃料類の削減には引き続き取り組み、ガイドライン移行に伴う変更は、当社に見合った内容にし取組みたい。



*Make
Sincerity
Keep*